4 実習の安全な進め方を知ろう 安全

めあて ●安全に実習するために必要なことを知る。

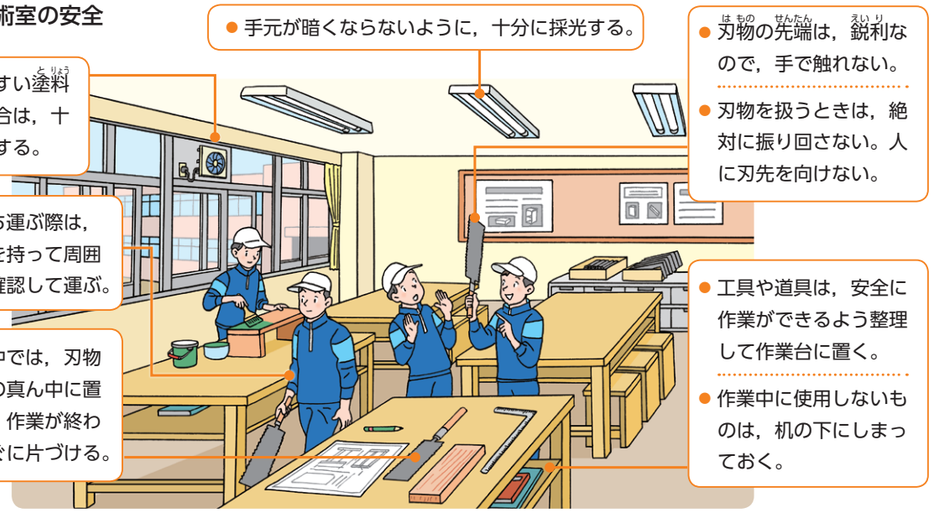
キーワード □安全 □服装 □工具の扱い □工作機械 □正しい操作方法 □整とん □手入れ

学ぶ 作業に適した服装，作業中の安全

工場などのものづくりの現場には，「安全第一」などの標語が掲げられています。実習では**安全**を優先して作業に取り組むことが最も大切です。作業に適した**服装**や安全な**工具の扱い**，実習の約束ごとなどを必ず確かめてから，作業をしましょう（資料 1・2）。

資料 1 作業に適した服装

資料 2 技術室の安全



工作機械の安全な利用法

電動の**工作機械**は，効率よく正確に加工できる反面，使い方を誤ると，大きなけがにつながります。**正しい操作方法**を理解して，安全に作業しましょう（資料 3・4）。

資料 3 電動の工作機械

資料 4 電動の工作機械を安全に利用する手順

❶始動前
- 作業スペースが整とんされているか確認する。
- 機械の部品を点検する。
- 保護眼鏡や防じんマスクを着用する。
- 周りの人の動きに注意する。
- 電源プラグを奥まで差し込む。

❷基本的な操作
- 必ず１人で操作する。
- 電源スイッチをONにして作業を始める。

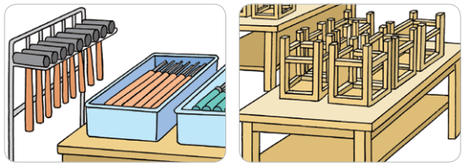
❸作業終了後
- 電源スイッチをOFFにする。
- 機械が停止するまでは，回転部を絶対に触らない。
- 機械が停止したら，切りくずを刷毛で清掃する。

作業後に注意すること

作業を終えたら，作業台の上や実習室全体をきれいに**整とん**しましょう。使い終わった工具や道具は，元あった位置に正しく戻します。

また，工具や道具は適切に**手入れ**をして，次の人が安全に使えるようにしましょう（資料 5）。

資料 5 作業後の点検事項



- 工具はきちんと整理して保管する。
- 切りくずを残さないように，丁寧に清掃を行う。
- 先生の指示で，ゴミを分別する。
- 作業台とイスを元の場所に片づける。
- 学校で決められたことを守る。

万が一，事故やけがが発生したら 安全 衛生
- 切り傷ややけどをした場合は，すぐに先生に報告し適切な処置を受ける。
- 塗料などが目に入ったら，すぐに水で十分に洗い流し，医師の手当てを受ける。
- 作業後は，手を石けんでよく洗い，汚れたままにしない。

ふり返る

確認 ●安全に実習するために必要な服装，準備や片づけなどがわかりましたか。